

# 選んだダンスの学習を深め、発表・交流しよう

## 1 授業の基本的な構想

### (1) 授業のねらい

本事例は、高等学校入学年次において三つのダンスから選んで自主的に学習を進める授業です。単元前半に、「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」の三つのダンスについて、3時間ずつ全生徒に共通した学習の時間を設けることにより、入学前の学習経験の差を解消するとともに、単元の後半での自主的な学習へスムーズに移行できるようにしています。

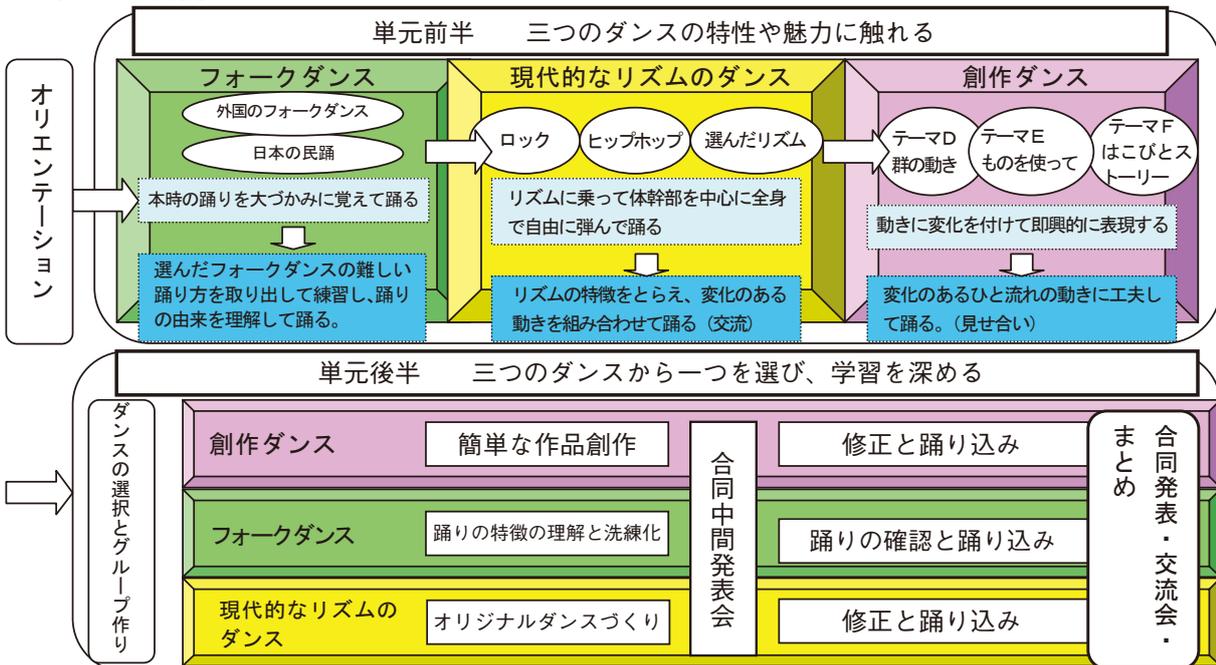
### (2) 授業づくりの考え方

単元前半で取り上げる内容は、「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」「創作ダンス」の順としています。「フォークダンス」の授業では、毎時間、日本の民謡と外国のフォークダンスを一つずつ取り上げ、基本的なペアの組み方や隊形の種類などを学習した上で、どちらかを選択し、自主的な学習を進めることができますようにします。「現代的なリズムのダンス」の授業では、友だちとかかわりながら自由に踊る活動を行い、ロックとヒップホップの基本的なリズムの特徴を学習した上で、どちらかを選択し、自主的に学習を進めることができますようにします。「創作ダンス」の授業では、「現代的なリズムのダンス」の自由に踊る活動を引き続き大切にし、多様なテーマからの即興的な表現と簡単な作品創作を行います。なお、「創作ダンス」で取り上げる多様なテーマの内容は、イメージや動きの広がりのあるものとなるよう配慮し、幅広い中から表したいイメージを見付けることができますようにします。

単元後半では、同じダンスを選択した生徒のグループで学習計画を作成させ、学習の見通しを持たせた上で、グループ別の活動を行います。単元の最後は、三つの内容の合同発表・交流会を行います。「創作ダンス」のグループでは、自分たちの表したいイメージを簡単な作品にし、発表を行います。「現代的なリズムのダンス」のグループでは、オリジナルダンスをつくり、発表と交流を行います。「フォークダンス」のグループでは、いろいろな地域の踊りを資料〔書籍・写真・DVD など〕から解読し、選んだ踊りの特徴をとらえて感じを込めて踊れるようにし、発表と交流を行います。そして、最後には、「現代的なリズム」と「フォークダンス」のグループのリードで、二つのダンスをみんなで一緒に交流して踊れるようにします。

なお、「技能」はもちろんのこと、学習に自主的に取り組もうとする「態度」や、課題に応じた運動の取り組み方の工夫を行う「思考・判断」、そして、交流や発表の仕方などを理解する「知識」についての学習を、バランスよく指導できるようにしています。

### <単元の展開例>



**2 単元の目標** ※ (1)は、中学校第3学年の目標を示している。

- (1) 次の運動について、感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表ができるようにする。 (技能)
- ・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ること。
  - ・フォークダンスでは、日本の民踊や外国のフォークダンスの踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ること。
  - ・現代的なリズムのダンスでは、ロックやヒップホップなどのリズムの特徴をとらえ、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ること。
- (2) ダンスに自主的に取り組むとともに、互いの違いやよさを認め合おうとすること、自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 (態度)
- (3) ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、体力の高め方、交流や発表の仕方などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 (知識、思考・判断)

**3 単元の評価規準** ※ ・と○数字の項目を本単元では重点的に取り扱う。

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>・互いの違いやよさを認め合おうとしている。</li> <li>・自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>・健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのダンスの特徴に合った踊りの構成を見付けている。</li> <li>・発表や仲間との交流の場面では、互いの違いやよさを指摘している。</li> <li>・健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。</li> <li>・ダンスを継続して楽しむための自己に適したかわり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊るための動きができる。</li> <li>・フォークダンスでは、踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊るための動きができる。</li> <li>・現代的なリズムのダンスでは、ロックやヒップホップなどのリズムの特徴をとらえ、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊るための動きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの名称や用語について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・踊りの特徴と表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・ダンスに関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・交流や発表の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ダンスの楽しさや喜びを味わうことができるよう、ダンスの学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>②互いの動きや表現の違いやよさなどを認め合おうとしている。</li> <li>③練習や発表・交流会で自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>④安全を確保して練習や発表・交流している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①選んだダンスの特徴に合った踊りの構成を見付けている。</li> <li>②見せ合いや発表・交流の場で、互いの違いやよさを指摘している。</li> <li>③健康や安全に留意した練習方法を選んでいる。</li> <li>④今後のダンスとのかかわり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができる。</li> <li>②フォークダンスでは、特徴的なステップや動きと組み方で踊ることができる。</li> <li>③現代的なリズムのダンスでは、ロックやヒップホップなどのリズムの特徴をとらえ、変化とまとまりを付けて全身で踊ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスの魅力やその違いについて、発表したり、学習カードに書き出したりしている。</li> <li>②三つのダンスの背景や動きの特徴などについて、学習カードに書き出している。</li> <li>③ダンスに関連した体力の高め方について、発表したり、学習カードに書き出したりしている。</li> <li>④発表・交流会の行い方や鑑賞の仕方について、発表したり、学習カードに書き出したりしている。</li> </ul>

4-1 指導と評価の計画(例)

選んだダンスの学習を深め、発表・交流しよう。[単元前半]

学習の段階		オリエンテーション	共通の学習① 「フォークダンス」		
			踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊る。		
毎時間の小テーマ			「ソーラン節」 (北海道) 「コロブチカ」 (ロシア)	「鹿児島おはら節」 (鹿児島) 「バージニア・リール」 (アメリカ)	「よさこい節」 (高知) 「ハーモニカ」 (イスラエル)
時数		1	2	3	4
高等学校 入学 年次	0	学習の進め方と三つのダンスの内容について知る	1 ウォーミングアップ 2 本時のテーマと課題の確認		
	10		3 日本と外国の踊りを大づかみに覚え、踊りの由来などを理解して踊る。		
	20		「ソーラン節」 櫓こぎや網をたぐる動作を力強く行う。	「鹿児島おはら節」 手首をしっかり回して前へ伸ばしたりシャープに体を開いたりする	「よさこい節」 輪がだんだん広がらないように、円周上に戻りながら踊るようにする。
	30		「コロブチカ」 男女の歩幅の違いに留意して、最初のサークルを保って踊る。	「バージニア・リール」 ヘッド・カップルの動きと他の組との動きをスムーズに行う。	「ハーモニカ」 グレイプバイン・ステップとハーモニカステップをスムーズに行う。
	40		4 日本と外国の踊りのどちらかを選び、その踊りの難しい踊り方を取り出して練習して踊る。		
50		5 みんなで交流して踊る・学習のまとめ			
評価の観点	運動についての関心・意欲・態度		① (観察)		
	運動についての思考・判断				② (学習カード)
	運動の技能				
	運動についての知識・理解	①③ (学習カード)	② (学習カード)		

共通の学習 高等学校入学年次（1～10時間目／18時間）

共通の学習② 「現代的なリズムのダンス」			共通の学習③ 「創作ダンス」		
ロックやヒップホップのリズムの特徴をとらえ、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊る。			多様なテーマから表したいイメージをとらえ、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現して踊る。		
ロック	ヒップホップ	選んだリズム	テーマD 群の動き 「主役と脇役」	テーマE ものを使って 「椅子・楽器・布」	テーマF はこびとストーリー 「物語・詩・絵」
5	6	7	8	9	10
1 ウォーミングアップ 2 本時のテーマと課題の確認			1 ウォーミングアップ 2 本時のテーマと課題の確認		
3 本時のリズムに乗って、自由に踊る。			3 本時のテーマから即興的に表現して踊る。 (3～6人組)		
ロックのリズムでは、「アフタービート」のリズムの特徴をつかんで踊る。	ヒップホップのリズムでは、「縦ノリの動き」や「リズムのとり方の変化」を取り入れて踊る。	選んだリズムで、リズムパターンの変化と動きの組み合わせを生かして踊る。	ダイナミックに空間が変化するように、集団の動きに変化を付けて踊る。	「もの」を使った動きを発見し、「もの」とのかかわり方に着目して踊る。	一番表現したいイメージをひと流れの動きで表現して踊る。
4 本時のリズムの特徴をとらえ変化とまとまりのある工夫した動きで踊ろう。			4 本時のテーマから表現したいイメージをとらえ、変化を付けたひと流れの動きで表現して踊る。		
					
5 他のペアと交流して踊る・学習のまとめ			5 工夫した表現の見せ合い(発表)・学習のまとめ		
① (観察)			① 観察		
		② (学習カード)			③ (学習カード)
② (学習カード)			② (学習カード)		

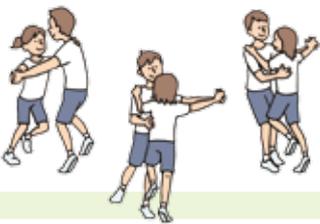
4-2 指導と評価の計画(例)

選んだダンスの学習を深め、発表・交流しよう。[単元後半]

学習の段階		選択したダンスの学習 グループに分かれて自主的に活動し、			
毎時間の小テーマ	ダンスの選択と 学習計画	選択したダンスごとのグループ別学習			
時数	①	12 ~ 14			
高等学校 入学年次 ↓	0	<b>1 三つのダンスから一つを選択する</b> 選択して学習する意義を理解し、「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」の中から、一つのダンスを選択する。	<b>「創作ダンス」</b> 簡単な作品創作 「はこびとストーリー」または「もの」を手がかりに、表したいイメージを深め、作品にして表現する。 「はじめーなかーおわり」の作品構成 イメージにふさわしい動きや音楽の選択と工夫 		
	10				
	20	<b>2 グループを作る</b> 同じダンスを選択した者が集まってグループを作る。	<b>「フォークダンス」</b> 踊りの特徴の理解と洗練化 踊りの由来や特徴をとらえ特徴的なステップや動きと組み方で踊る 動き・隊形・組み方・パートナーチェンジの方法など 		
	30				
	40	<b>3 学習計画を立てる</b> 選択学習の見通しを持つ。	<b>「現代的なリズムのダンス」</b> オリジナルダンスづくり 選んだ曲やリズムの特徴をとらえ、変化とまとまりのある動きで、連続して踊れるようにする。 特徴にあった動きの選択や工夫 群の構成や簡単なまとまりを付ける 		
50					
評価の観点	運動についての関心・意欲・態度		④ (観察)	② (観察)	③ (観察)
	運動についての思考・判断		③ (学習カード)		
	運動の技能				①②③ (観察)
	運動についての知識・理解	④ (学習カード・観察)			

※時数を○で囲んであるものは「本時の目標と展開」を例示した。

選んだダンスの学習 2 高等学校入学年次 (11～18時間目／18時間)

選んだダンスの学習を深める。			
		合同発表・交流会とまとめ	
15	16・17		18
合同中間発表会	<p>作品の修正と踊りこみ</p> <p>実際に踊りながら、動きや作品構成を確認し、作品の修正と動きの練習を行う。</p> 		<p>1 発表準備</p> <p>各グループで、発表の最終確認を行う。</p>
	<p>踊りの確認と踊り込み</p> <p>グループごとに、選んだ踊りの中で難しいステップなどを取り出して繰り返し練習する。</p> 		<p>2 発表会</p> <p>「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」の学習成果を発表し合う。</p>
	<p>ダンスの修正と踊り込み</p> <p>実際に踊りながら、動きや構成を確認し、繰り返し練習する。</p> 		<p>3 交流会</p> <p>「フォークダンス」および「現代的なリズムのダンス」のグループのリードで、みんなで一緒に踊る。</p>
③ (観察)	① (観察)	① (学習カード)	④ (学習カード)
			①②③ (観察)

## 5 本時の目標と展開

【高等学校入学年次 選んだダンスの学習2 -ダンスの選択と学習計画-】

11 / 18 時間】

(1) 本時の目標

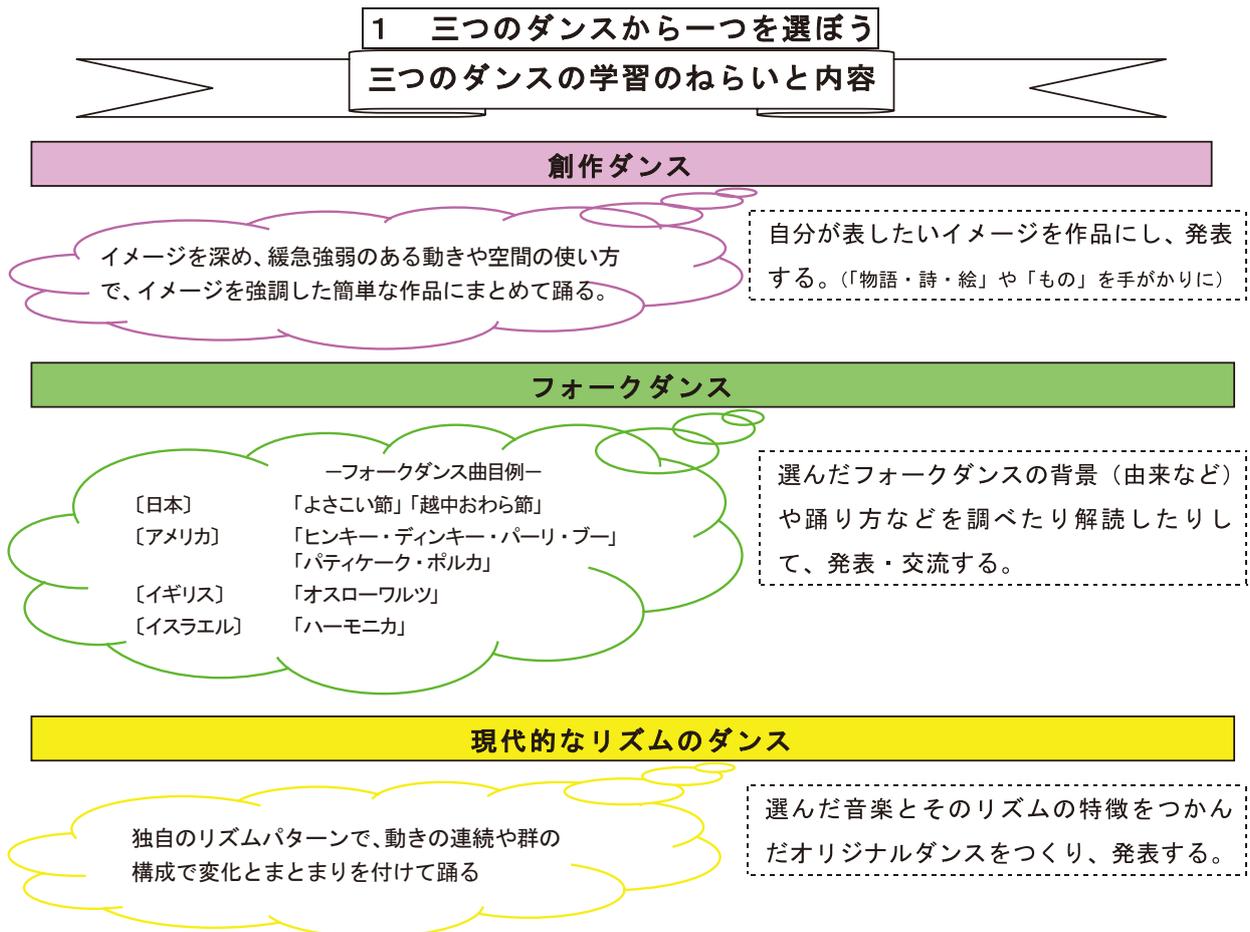
- 学習を深めたいダンスを選び、自主的に学習に取り組むことができるようにする。 (態度)
- 学習の進め方や発表・交流会の行い方、鑑賞の仕方を理解し、学習の見通しをもつことができるようにする。

(知識、思考・判断)

(2) 展開 ※ 本時では、運動についての知識・理解を主として評価する。

	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価 (☆)
はじめ	1 本時のねらいと活動の仕方を知る。	・ 単元前半の共通の学習を振り返り、それぞれのダンスの特性を確認すると共に、単元後半の選択したダンスの学習の計画を立てることを伝える。
なか	<p>2 「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」の学習内容と学習の進め方を知る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid #add8e6; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 150px;">                     地域に伝わる民踊について調べたいな                 </div> <div style="border: 1px solid #add8e6; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 150px;">                     椅子を使った動きがおもしろかったな。あの動きを使って作品を作りたいな                 </div> </div> <p style="margin-top: 10px; border: 1px solid #add8e6; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 100px;">                     ヒップホップのリズムでかっこよく踊りたいな                 </p>	<p>・ 三つの学習内容と学習の進め方を順番に説明する。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 5px; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <b>創作ダンス</b> </div> <p>単元前半の共通の学習をもとに「物語・詩・絵」や「もの」を手がかりに自分が表したいイメージを簡単な作品にし、発表する。</p> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 5px; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <b>フォークダンス</b> </div> <p>自分たちで選んだフォークダンスの由来や踊り方を調べたり解説したりして、発表・交流する。</p> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 5px; padding: 2px;"> <b>現代的なリズムのダンス</b> </div> <p>ロックかヒップホップなどのリズムの音楽を選び、選んだリズムと音楽の特徴をつかんだオリジナルダンスをつくり、発表する。</p> </div>
	<p>3 過去の発表・交流会の様子を映像で鑑賞し、行い方を理解する。</p> <p>4 単元後半で学習するダンスを一つ選択し、選択したダンスが同じ者同士でグループを作り、単元後半の学習計画を立てる。</p>	<p>・ 発表・交流会に向けて、グループの学習課題を具体的にして学習計画に反映するよう促す。</p> <div style="border: 1px solid #add8e6; padding: 5px; margin-top: 10px;">                 ☆発表・交流会の行い方や鑑賞の仕方について、発表したり、学習カードに書き出したりしている。  <b>【知識・理解④】 (カード・観察)</b> </div>
まとめ	5 学習カードの学習計画を記入し、今後の学習の見通しをもつ。	・ グループ毎の学習課題と学習の見通しを確認する。また、次時の学習に必要な準備物などを確認する。

《参考資料》三つのダンスから一つを選び学習計画を立てる授業（事例 11 時間目）で活用する学習資料の例



第2節

